彩の国中学生高齢者施設でのふれあい体験事業【優秀賞】

**「人の役に立つこと」**

****入間私立西武中学校　二年　　村田　六花

　私の親は老人ホームの相談員として働いています。昨年、親に勧められ、ボランティアに参加させていただきました。もう一度体験したい。昨年の反省をいかしたい。という思いから、今年も参加させていただきました。

　まずは、介護課長が入居者さんとの接し方や、ハウスルールの説明などをしてくれました。たくさんルールがあり、それを守った上での介護はとても難しいだろうなと思いました。入居者さんは、ご高れいの方が多いので声をかける際には、普段、友達と話す時とは違い、正面から大きな声でゆっくりと話さなくてはなりません。車椅子の押し方は、速すぎてもおそすぎてもいけず、相手の居心地の良いペースでおさなくてはいけないということがわかりました。このようなことから、老人ホームは思いやりからできているのだなと深く感じました。そんな中、いざ入居者さんとご対面。私は、とてもきんちょうをしてしまいました。手のマッサージをはじめ、入居者さんもリラックスしてくれて、話しかけてくれるようになり、私もとてもうれしかったです。そして、マッサージが終わるころには、「ありがとう」「ずいぶん体が楽になった」と、ありがたい言葉をいただけたのでうれしかったです。次に、ユニットに行きました。さきほどのリラックスを忘れ、私はまたきんちょうしてしまいました。ですが、共通の趣味をもつ入居者さんがいらっしゃったので話がはずみました。お昼ご飯をはさみ、午後は手芸をしました。手芸が得意な方が多く見習いたいなと思いました。糸を通すのが苦手だった方もいて、そこで役に立てたのがうれしかったです。

　今回、老人ホームでボランティアをさせていただき、学べたことがたくさんありました。私は、もともと人の役に立つ仕事をしたかったので、その気持ちが強くなりました。そして、日頃から人の役に立つように心がけようと思いました。

****